



国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

例会場 東京第一ホテル鶴岡 (鶴岡市錦町 2-10) 例会日 毎週火曜日 (12:30～13:30)

平成25年8月27日(火) 第2643回 例会 (本年度第7回)

9月17日(火)	ゲストスピーチ 鶴岡市立荘内病院院長 三科 武氏
9月24日(火)	ゲストスピーチ 鶴岡警察署署長 相馬 諭氏
10月1日(火)	通常例会
10月8日(火)	ゲストスピーチ 加茂水族館館長

Eメール◎tsuruoka08@rid2800.jp ホームページ◎http://www.tsuruokarc.org/

鶴岡ロータリークラブ
ホームページ



会長挨拶

嶺岸禮三君

例会に向かおうとしたところに、会津若松南RCの沼木会長から電話がありました。「福島県の2530地区が企画した『会津の里にこらんしょ』プロジェクトをやるので期間中ぜひ来てください」ということでした。2530地区の社会奉仕で、福島復興支援が趣旨です。5名以上で参加すれば、記念品がもらえるとか。

概要は以下の通り

【日程】9月14日(土)～10月14日(月)
【地域】2530地区会津分区内
【内容】5名以上の予約で日本酒セット及び記念品プレゼント(1クラブに1セット)
参加ロータリアン全員に記念品進呈
※参加はクラブ単位、家族単位、個人でも結構ですが、必ず予約をお願いします。申し込み予約は地区ガバナー公式ホームページからダウンロードできます。
※宿泊は斡旋していませんが、予約が取れないときは会津若松南クラブにご連絡ください。

友好クラブでありますので応援できればと思います。
本日第4回理事会を開催しました。議題の中から主なものを報告します。

1. 鶴岡RC創立55周年記念式典

2014年6月14日(土)の55周年記念式典・祝賀会の実行委員会を立ち上げることにしました。委員に指名された方はご協力をよろしくお願いいたします。

2. 職業奉仕フォーラムについて

8月29日(木)18:30、国際村で、鶴岡南RCと合同で開催します。

3. 社会奉仕委員会当面の活動について

①金峰山視察登山について、加藤理事、西川委員長が日程調整をする。

②鶴岡在住、東日本大震災被災者支援について、西川委員長が被災者代表と話し合いを持つ。

③香頭ヶ浜海岸清掃について、鶴岡ローターアクトクラブと連絡を取り、早めに日程を決める。

4. 2014－2015年度、ガバナー補佐推薦について

理事全員一致で富樫松夫君を鶴岡RCとして推薦することを決定。

5. 青少年交換学生ザック君のサポートについて

アメリカからの交換学生ザック君のホストファミリーをクラブ会員にお願いする。

幹事報告

小林健郎 君

鶴岡ロータリークラブ

○だだちゃ豆家族例会収支会計報告

収入	
会員登録料	128,000円
会員	25名×4,000円
家族他	17名×2,000円
招待21名	
クラブ負担	179,787円
	307,787円

支出	
会場費(東京第一ホテル鶴岡)	282,496円
だだちゃ豆	15,000円
お子様プレゼント	5,850円
かき氷	4,441円
	307,787円

南陽ロータリークラブ

○南陽RC創立50周年記念事業のご案内

日 時	10月13日(日)登録12:00 式典13:00
場 所	熊野大社
登録料	一人10,000円 締切9/10

東京東江戸川ロータリークラブ

○東京東江戸川RC創立45周年記念事業のご案内

■RI会長 ロンD・バートン ■地区ガバナー 新関 彌 一 郎

■会長／嶺岸禮三 ■副会長／越智茂昭 ■幹事／小林健郎 ■会長エレクト／丸山隆志
■会報委員会／嶺岸禮三・本間 厚・石田 雄・丸山隆志

事務局：鶴岡市馬場町11-63 鶴岡産業会館 3 階 TEL (0235) 28-3375 FAX (0235) 28-3376

日 時:10月12日(土)登録14:30 式典15:15～

場 所:タワーホール船堀 2F 締切:9/13

ガバナー事務所

○「一人が一人を」運動のお願い

鶴岡工業高等専門学校

○鶴岡工業高等専門学校創立50周年記念行事

日 時:10月25日(金) 式典15:00

場 所:グランドエルサン

会 費:5,000円 締切9/10

ゲストスピーチ

鶴岡シルク㈱代表取締役 大和匡輔氏



私は昭和33年鶴岡市上畑町生まれ、中学高校とサッカーに明け暮れ、東京の大学進学。その後外資系の製薬会社に就職、10年間大学病院担当のMRとして、日本がバブル全盛時を過ごしました。その間ス

イスパーゼル本社などを経験し、薬剤師としての疑問を感じ20年前に退職し、絹織物の世界に入る事となりました。
シルク産業を何とかしなければと思うようになったのは鶴岡の産業の歴史を酒井忠明様や諸先輩達からお話を伺うようになってからです。バブルが崩壊し、下請けに甘んじていたがための産業空洞化で日本が迷走し始めました。その時思ったのが庄内藩士3,000人が刀を鋏に変え、松ヶ岡を開墾した鶴岡の歴史でした。賊軍だった庄内藩士がお国のために頑張り、やがて絹産業が鶴岡市の一大産業となった歴史は、今おかれている環境を打破するためのお手本のように感じられ、西郷隆盛が庄内藩士に送った「気節凌霜天地知」は自分の座右の銘としています。全国に50万件あった養蚕農家も700件となり、製糸工場も2社、精練工場も1社、今では絹製品を作る全ての行程が揃っているのはここ鶴岡だけになってしまいました。ではなぜ明治、大正時代には今の自動車産業以上に日本の経済に貢献した絹産業がここまで衰退してしまったのか？ それは絹は国策により世界のトップまで昇った事。成長から発展に変わらなければいけなかった事に気づかず、イノベーションを忘れ、産業の衰退のモデルのようになりました。今まさに2千年続いた絹が消えかけています。人間にとって一番やさしい身近な素材である絹は長いスパンで考えれば決してなくなる、なくなてはいけない素材なのです。この事を解決するのに、先人先輩達が残してくれた技術や遺産を今の時代に合った物づくりに変えることにより可能性が見い出せると思います。今我々が手がけている「Kibiso」ブランドは先人先輩達が残してくれた技術や職人技を今の時代に合ったデザインや素材開発により未来に繋いでいく希望なのです。

また、今話題の「スパイバー」社とも絹と蜘蛛の糸が同じ蛋白質から出来ている事から関わっております。彼らは最先端の技術で合成蜘蛛糸を作ろうとしておりますが、そこに様々な鶴岡の職人の知恵が加わり製品化に向けたアドバイスなどを行っております。実は彼ら若い研究者達は我々の一番の理解者なのです。先人先輩達が築き上げた産業クラスターが、今またこの鶴岡で起きようとしています。それにはまさにビッグブランドよりファクトリーブランド、衣から医へ食などへの応用に新たな可能性を見つけ、様々な人たちとのコラボレーションにより地域活性化に繋いで行きたいと考えます。

産業衰退のモデルのような絹産業を新たな可能性を追求する先端産業にし、鶴岡を日本の未来に向けたモデル地域にしたいのです。我々は絹織物産地の北限いくなればシルクロードの終着点である鶴岡を終着点ではなく折り返し地点と考え、ヨーロッパ海外に打って出たいと考えております。今後ともご支援の程何卒宜しくお願い致します。

委員会報告

◆鹿児島西RC盟約50周年記念実行委員会 樋渡美智子君
例会終了後、実行委員会を開催します。委員の方はお残り下さい。

◆職業奉仕委員会 佐藤友行君
29日、南クラブと合同で「職業奉仕フォーラム」を開催します。皆様多くの参加をお願いします。

◆米山奨学会委員会 富田貴美子君
先週お願いした募金の袋を準備しました。ご協力をお願いいたします。

◆出席委員会

◎ゲスト

大和匡輔氏 (鶴岡シルク㈱代表取締役)

スマイル ☺

石田 雄君 9月1日から鶴岡市第8回芸術祭が開催されます。どうぞよろしく。旧文化会館最後の年になります。

真島吉也君 先日のだだちゃ豆例会、孫がじゃんけんゲームで優勝しました。賞金は孫から預かりスマイルボックスに入れました。

吉野隆一君 大和さん、ゲストスピーチありがとうございます。アライアンスの継続をお願いします。7年ぶりに100キロの大会に乗りました。

菅原成規君 大和社長ありがとうございます。私も絹入り麦きりで頑張っています。

武田啓之君 大和さん、これからも頑張ってください。
加藤 賢君 山形新聞の特集「これぞ老舗」に大きく取り上げて頂き感謝！

出席報告

会 員 数	40名
出 席	30名
出 席 率	81.08%
前々回確定出席率	66.67%